



隊友四街道支部便り



令和6年3月号 支部事務局
副支部長：奥村（090-8728-7838）

令和6年度四街道支部事業「千葉県中央防災備蓄倉庫」の現地確認を実施しました！

支部は「令和6年度事業計画」に基づき、市原市の千葉県消防学校敷地内に設置された「千葉県中央防災備蓄倉庫」の現地確認を実施しました。当日参加した支部会員5名（筒井支部長、奥村副支部長、山口事務局長、中村理事、岡田理事）に対して、千葉県防災危機管理部防災対策課の宮崎災害情報室長及び同室の糸瀬主事から備蓄品運用の考え方、物品保管状況及び搬出要領等の説明を受け、我々が「いつ（どのタイミングで）、どのような」活動を求められるのか？その概要を把握し、今後の訓練計画策定の資を得ることができました。「新たな次元を迎えた自衛隊と国民を結びつける真の意味での「国民と自衛隊とのかけ橋」を目指すためにも、四街道支部として本事業の成果を確実に結果に結びつける所存です。



【千葉県消防学校と併設された倉庫】
市原市菊間783番地
四街道から一般道で約50分



中央防災備蓄倉庫の全景



保管の状況



宮崎室長、糸瀬主事とともに

（撮影）岡田理事

感謝と慰霊の気持ちを込めて （陸軍軍人墓地を整備）



三月十九日、昨年に引き続き、長年にわたり墓地を護り続けてこられた栗山半台区の皆様と共に筒井支部長、舟根理事、小林会員が整備作業を実施しました。また後日、春の墓参も行われることからの墓地に眠る八名の英霊に対して改めて感謝の気持ちを捧げたいと思っております。四街道支部は今後も引き続き栗山半台区の皆様とこの活動を継続していきます。



ヒゲの隊長 参議院議員佐藤正久メルマガ

「人は石垣、人は城。腹が減っては戦が出来ぬ」

「継戦能力（自衛隊員の処遇改善）」について、予算委員会で質問しました。①日本の防衛中枢である市ヶ谷地区では、ヘルメット、防弾チョッキ、防毒マスク等の個人用防護装備が充実していない。

特に政務3役や事務官には行きわたっていない。危機管理の観点では、最高指揮官たる総理をはじめ、政府要人用に最低限の装備は整えるべきである。②予備自衛官の手当はこの36年間ずっと据え置き、しかも、予備自衛官補から予備自衛官に昇任すると手当が減額になるという有り様。また、訓練で扱う小銃は旧式のもので現状にそぐわない等、予備自衛官の低充足率を改善するための問題点は多い。③令和4年度は、採用すべき自衛官候補生の予定者に対して実際の入隊者数は約5300名も不足した。令和5年度の採用状況の見通しも厳しい。糧食・被服の予算の増額で勤務環境を改善し、入隊者数の増加につなげる必要がある。少なくとも、「配食量が足りない」という理由でどちらか一択の米食とパン食の両方を食べて停職処分や、隊舎用トイレトペーパーの自腹購入等という事態が二度と起きないように、総理には自衛隊員の処遇改善を強くお願いした。（3/6配信メルマガ抜粋）

皆様へのご案内

○下志津駐屯地創設69周年記念行事（つつじ祭り）が開催されます。現役隊員を激励して下さい
日時：令和6年4月20日（土）1000～ ※例年の29日×ではなく20日○の開催です！

次回の役員会：令和6年4月13日（土） 0900～1000 ※大日萱橋台区自治会館